

主要コンテナ航路の荷動き動向（速報値※）

（公財）日本海事センター・企画研究部

（公財）日本海事センター・企画研究部は、PIERS（Port of Import/Export Reporting Service）の統計データを基に、『日本・アジア / 米国間のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表しております。それに加えて、欧州航路、日中航路、アジア域内航路の荷動き動向も発表しております。

主要航路の荷動きのポイント

北米航路 往航（2020年7月）1,651,645TEU（0.4%増）（2019年7月：1,644,842TEU）

・《中国積みが前年比2.6%増、全体では10か月振りの増加》

復航（2020年5月）536,935TEU（9.6%減）（2019年5月：593,957TEU）

- 北米往航（アジアから米国）は、前年比0.4%増で10か月振りのプラス。2020年7月の中国（塩田）-ニューヨーク間の運賃は前年比18.5%増の2,690ドル/TEUで3か月連続のプラス。
- 北米復航（米国からアジア）は、前年比9.6%減で、3か月連続のマイナス。2020年7月のニューヨーク-中国（塩田）間の運賃は前年同の800ドル/TEU。

欧州航路 往航（2020年6月）1,391,918TEU（3.8%減）（2019年6月：1,446,269TEU）

・《20年上半期累計は、前年同期比12.3%減となる729.9万TEU》

復航（2020年6月）610,577TEU（6.9%減）（2019年6月：655,502TEU）

・《先月に続き、中華地域揚が前年比3.1%増》

- 欧州往航（アジアから欧州）は前年比3.8%減で6か月連続のマイナス。2020年7月の中国（塩田）-英国（フェリックストウ）間の運賃は前年比14.3%増の1,280ドル/TEUで2か月連続のプラス。
- 欧州復航（欧州からアジア）は前年比6.9%減で4か月連続のマイナス。2020年7月の英国（フェリックストウ）-中国（塩田）間の運賃は前年比54.4%増の1,390ドル/TEUで8か月連続のプラス。

日中航路 往航（2020年6月）831,548トン（4.2%減）（2019年6月：868,082トン）

・《20年上半期累計は、前年同期比8.8%減となる443.1万トン》

復航（2020年6月）1,704,164トン（4.5%減）（2019年6月：1,784,972トン）

・《20年上半期累計は、前年同期比8.7%減となる988.3万トン》

- 日中往航（日本から中国）は、前年比4.2%減で16か月連続のマイナス。金額ベースでは前年比0.9%減の6,950億円で6か月連続のマイナス。2020年7月の横浜-上海間の運賃は前年比6.5%減の430ドル/TEUで3か月連続のマイナス。
- 日中復航（中国から日本）は、前年比4.5%減で2か月連続のマイナス。金額ベースでは前年比0.3%増の1兆387億円で3か月連続のプラス。2020年7月の上海-横浜間の運賃は前年比3.1%増の660ドル/TEUで5か月連続のプラス。

アジア域内航路 （2020年6月）3,649,700 TEU（1.0%増）（2019年6月：3,614,600 TEU）

・《荷動き量は、統計開始以来6月単月としては最高》

- CTS社による集計では、前年比1.0%増となる365万TEUで6か月振りのプラス。2020年7月のアジア域内コンテナ運賃指数（US\$/FEU）は前年比1.9%減の812ドル/FEUで19か月振りのマイナス。

注1：速報値ベースでの発表のため、後に修正が加わる場合がある。

注2：日中航路荷動き量は財務省「貿易統計」をもとにした（公財）日本海事センターによるトンベースでの推計。

注3：運賃指数はDrewry, *Container Freight Rate Insight*に基づく

図 - 1 北米航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位 : TEU)

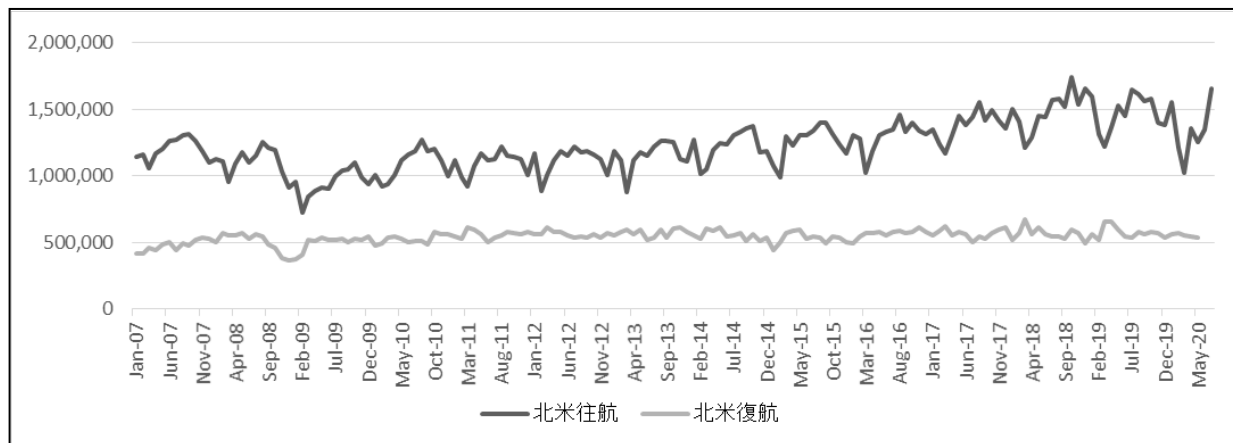


図 - 2 欧州航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位 : TEU)

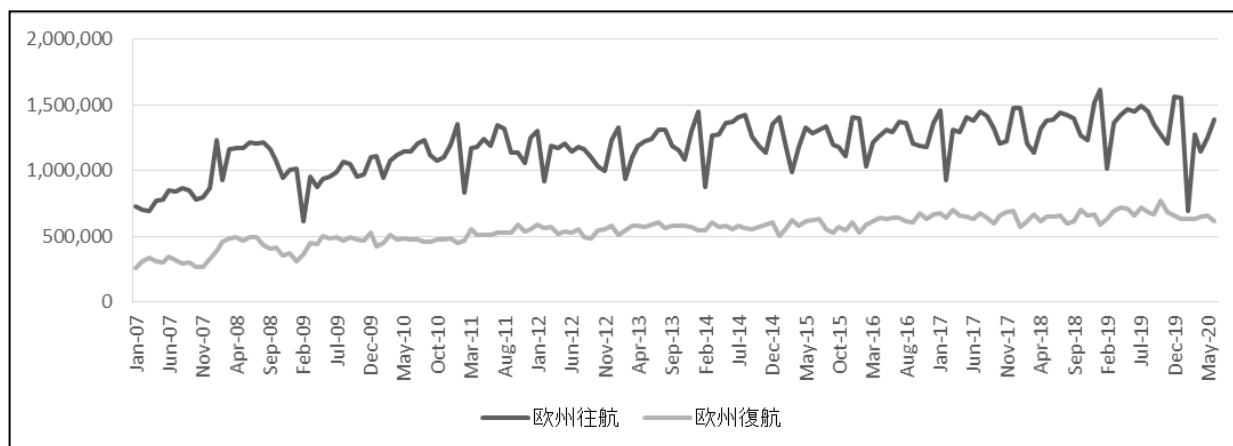


図 - 3 日中航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位 : トン)

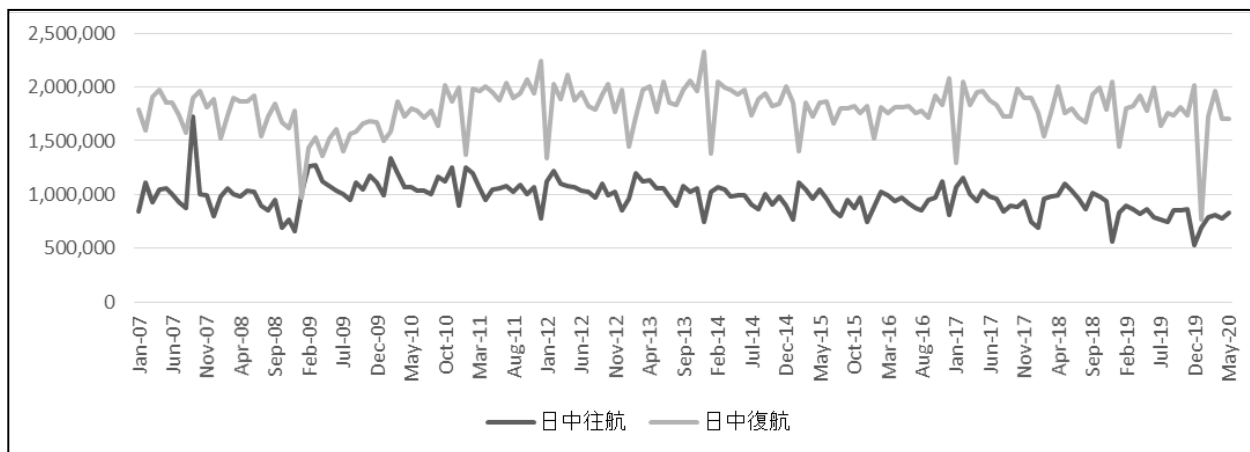


図 - 4 アジア域内航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位 : TEU)

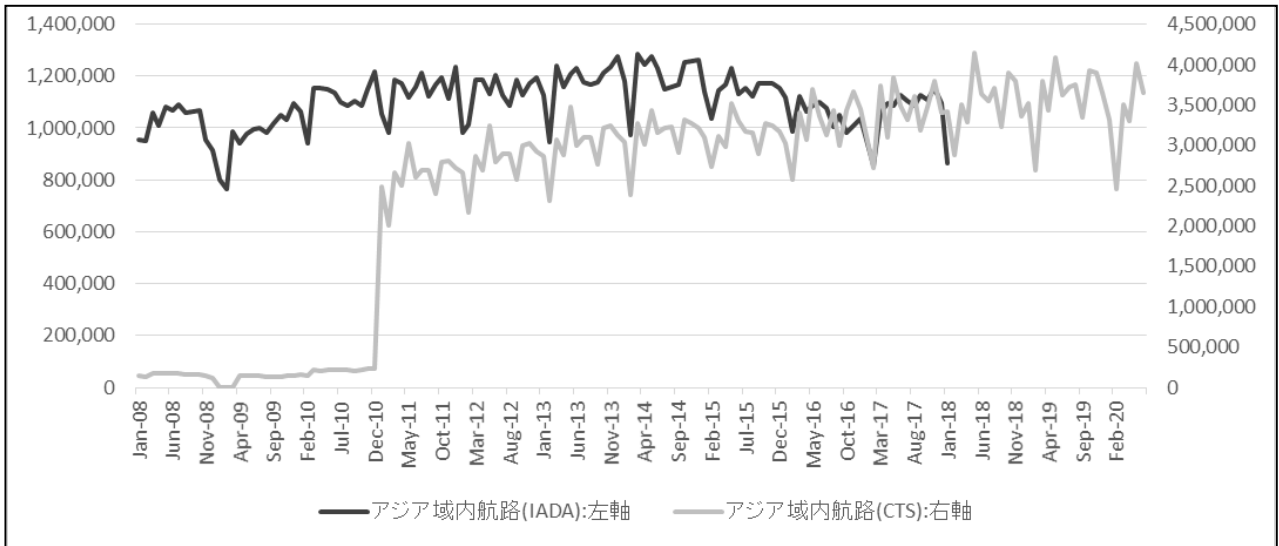


図 - 5 北米航路における運賃指数の推移 (単位 : ドル/TEU)

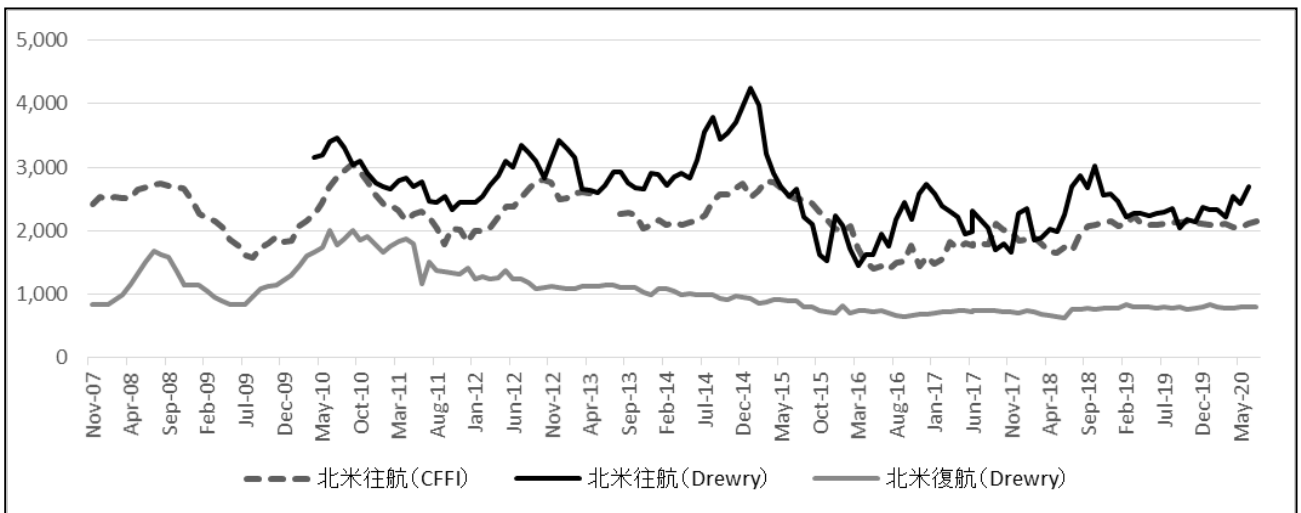


図 - 6 欧州航路における運賃指数の推移 (単位 : ドル/TEU)

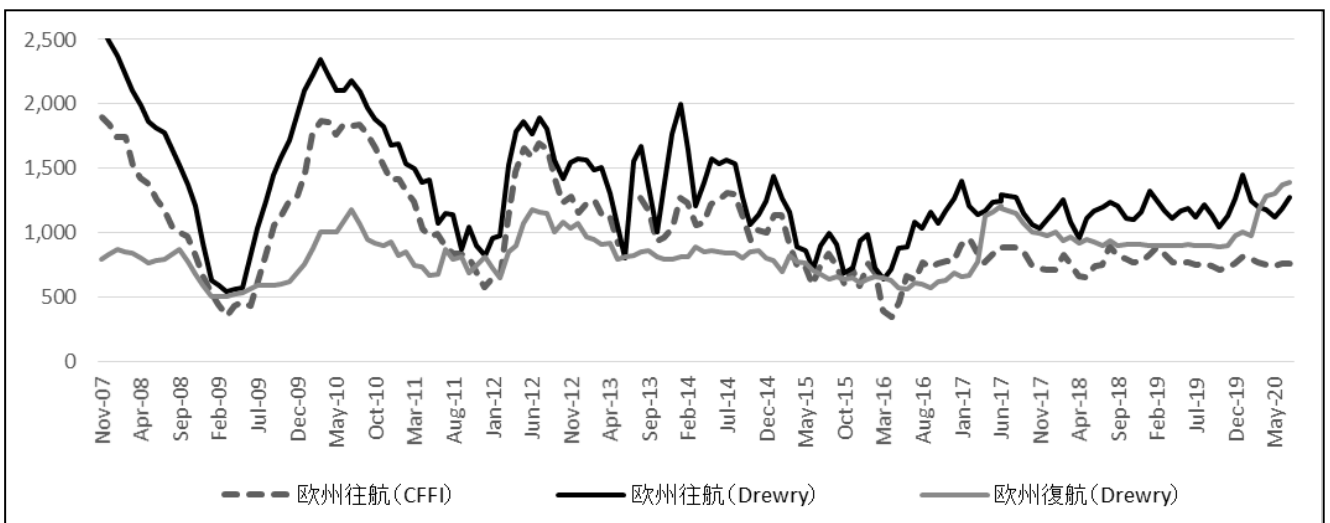
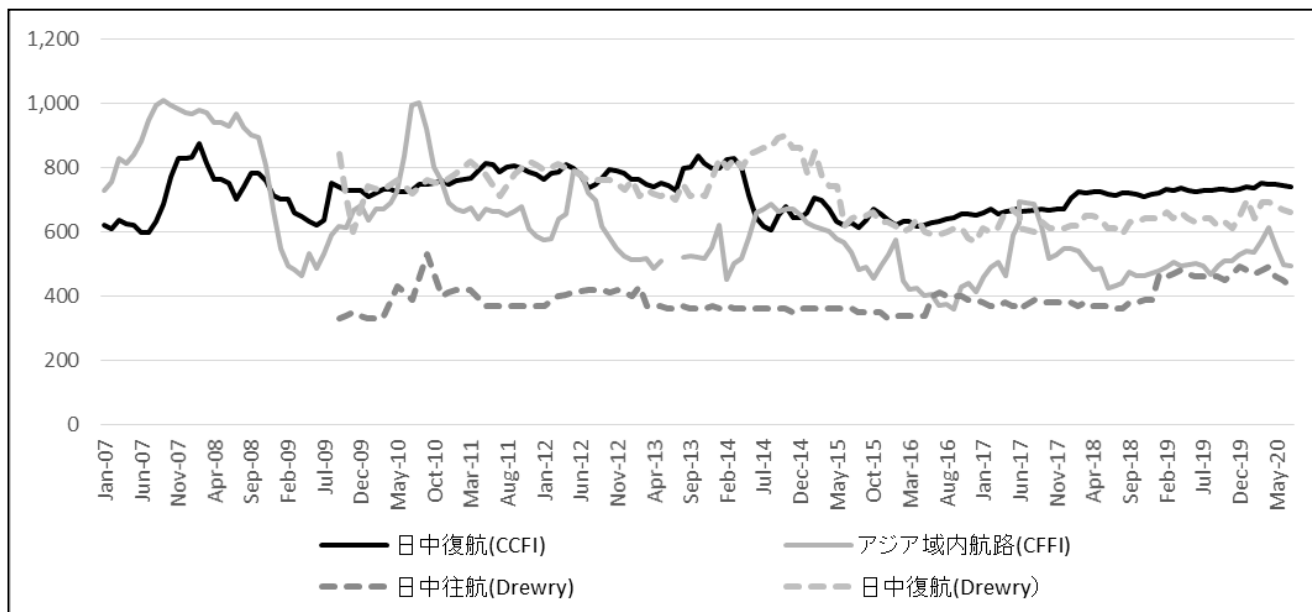


図 - 7 日中航路・アジア域内航路における運賃指数の推移 (単位 : 指数 (CCFI)、ドル/TEU (その他))



(参考) 輸送量・運賃データの出所

1.北米航路輸送量

・ PIERS (Port Import/Export Reporting Service) データ

2.欧州航路輸送量

・ Container Trade Statistics Ltd.

3.アジア域内航路輸送量

・ IADA アジア域内配船主要船社取りまとめデータ、Container Trade Statistics Ltd. (CTS 社)

4.日中航路輸送量 (トンベース)

・ (公財) 日本海事センター企画研究部 (注意 : 財務省貿易統計に基づきトンベースで推計)

5.北米航路、欧州航路運賃指数 (往航では (CI,Drewry) と示した列、復航)

・ Drewry "Container Freight Rate Insight" : 南中国 (塩田) と米国東岸 (ニューヨーク)、英国 (フェリックストウ) 間の運賃

6.北米航路、欧州航路運賃指数 ((CCFI) と示した列)

・ 中国国際海運網ウェブサイト <http://en.shippingchina.com/scfi/index/index.html>

7.アジア域内航路運賃指数 (毎月)

・ 中国国際海運網ウェブサイト(中国・東南アジア間航路の運賃指数)、Drewry "Container Freight Rate Insight" : Intra-Asia Freight Rate Index(US\$/FEU)

8.日中航路運賃指数

・ Clarkson Research "China Intelligence Monthly" (上海航運交易所発表の中国輸出コンテナ運賃指数 ((CCFI) と示した列))

・ **Drewry "Container Freight Rate Insight" (中国 (上海) と東京/横浜間の運賃) : 2014 年 4 月発表の資料より変更**

9.BDI (バルチック海運指数)

・ トランプデータサービス "World Maritime Analysis"

10.円ドルレート

・ FRB ウェブサイト <http://www.federalreserve.gov/econresdata/releases/statisticsdata.htm>